

酒田市地域女性活躍推進事業【山形県酒田市】

地域の実情と課題

- 本市の女性就業率は49.1%で男性就業率66.0%と比べて低い。
- 結婚や出産を機に職を離れるケースがあり、正規雇用43%に対し、非正規雇用の割合が35%と高い。
- 山形県のデータでは、女性の育児休業取得率は96.5%だが、30人未満の企業規模では84.0%である。10人以上企業の女性の平均賃金は219.5千円であり男性の301.1千円を約81千円下回っている。

事業の特徴

- ①関係機関、学識経験者、有識者等からなる女性活躍推進懇話会において本市の現状と課題を情報共有し、方向性を協議しながら連携して事業を実施する。
- ②意識啓発のためにガイドブックを作成し女性活躍の意義などを周知するツールとして活用する。加えて、酒田市版リーダーの会を設立しトップの意識啓発を図り、一般事業主行動計画の策定への取り組みを促進すると共に一般事業主行動計画策定済企業の周知を目的としてオリジナルステッカーを作成し配布する。

事業の効果

酒田市女性活躍推進懇話会において、関係機関等と連携し事業を実施した結果、コロナ下における現在進行形の本市の実情を共有するとともに次年度以降の官民が連携した施策へとつなげることができた。また、市民フォーラムの開催に代えて女性活躍推進ガイドブックを作成し、合わせてダイジェスト版を市広報の特集として掲載しコロナ下だからこそ女性活躍推進を行う意義を広く周知し機運の醸成を図った。その結果、設定した数値目標の達成に至ったと捉えている。

目的・目標

- 女性がキャリアを継続し活躍することにより地域社会を活性化するため、官民一体となって女性活躍を推進していくことを目的とする。
- ・女性就業率 49.1%(H27.10)→60%(R2.10)
 - ・平均賃金219.5千円(H30.7)→男性の平均賃金に近づける
 - ・職場における男女の不平等感を感じる割合60.5%(H29.12)→40%(R4)
 - ・女性活躍推進法の一般事業主行動計画届出件数7件(R1.11)→9件(R3.3)

連携団体

酒田市女性活躍推進懇話会
国(ハローワーク酒田)、県(庄内総合支庁)、酒田商工会議所、庄内銀行、女性農業者団体、社会保険労務士、東北公益文科大学、有識者等

今後の課題

本市において女性活躍を推進するために課題として挙げられているものは、事業主の意識改革、働く女性自身の意識改革、家庭や地域の意識改革と意識啓発に関するものが最も大きい。意識啓発は簡単に進むものではないが、引き続き本市の女性活躍に関する指標等の見える化に努め、懇話会において、関係機関始め官民連携して実施していく必要がある。

事業の概要

【酒田市女性活躍推進懇話会】

副市長を座長とし、国、県、関係機関、学識経験者等による委員13名(男性1名、女性12名)により、本市の現状把握、情報共有、事業内容協議・実施、提言、検証等について年間2回開催。



【酒田版女性(だけじゃないよ)活躍推進ガイドブック】

コロナ禍においてこそ女性活躍推進の意義を周知し、機運醸成を図ることを目的として作成した。ガイドブックには、新たに立ち上げた酒田市版リーダーの会である「日本一女性が働きやすいまち宣言に賛同するリーダーの会」への加入の呼びかけや、一般事業主行動計画策定済企業の知名度向上のために独自に作成したオリジナルステッカーを掲載するなど、事業主への具体的な行動を促す内容を盛り込んだ。

加えて、家庭や地域における意識啓発や、女性自身のチャレンジ支援につながる情報など、総合的な取り組み内容をわかりやすく紹介した。

ガイドブックの内容は、酒田市女性応援ポータルサイトにも掲載し、広く周知を図っている。

- ・作成部数 1,000部
- ・配布箇所 公共施設、経済団体、事業所等



【日本一女性が働きやすいまち宣言に賛同するリーダーの会】

女性活躍推進に取り組む市内のリーダーによる連携した取り組みを進めるために設立した。

会長：酒田市長

発起人：酒田商工会議所会頭、
酒田ふれあい商工会会長

設立月日：令和3年1月1日



【女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画策定済企業の周知】

本市における一般事業主行動計画策定済企業の知名度向上を図り、女性活躍に取り組む企業を支援するためオリジナルロゴマークを作成し、ステッカーとして配布すると共に、酒田市女性応援ポータルサイトにも新たにページを開設し、周知を図った。

- ・作成部数：50部
- ・配布先：一般事業主行動計画策定済企業

